

2020年11月台風19号 被災地支援活動報告②

2020年11月2日に発生した今年最強と呼ばれる台風19号（アジア名：コーニー）がフィリピンに上陸いたしました。支援報告①でご報告させていただいた通り、会では皆さんからいただいた物資、義援金を「マニラ・ラハ・ソライマン・ロータリークラブ」に寄付させていただきました。



その後、最も被害が大きかった地域の一つ「ビコル」にて現地チームによる生活物資の支援活動が行われました。また、義援金に関しましては何度も使用用途について会議を重ね、今回被災地に住む一人の少年に車椅子を支援することになりました。

後日、その少年から日本の皆さんにお礼のお手紙が届きましたのでご報告いたします。



「私の名前はアリエル、17歳です。私はケソン州から来ました。私は下半身に麻痺を患っています。私は日本の医療グループ・ハローアルソンの皆さんに心から感謝したいです。

私はずっと長い間車椅子を待ち望んでいました。私の両親も皆さんのグループに感謝しています。」 Maraaming maraaming Salamat po（どうもありがとうございます）



この少年は生まれつき重度の障害があり自立歩行ができません。今回の台風でもお父さんが抱き上げ避難場所へ避難しました。フィリピンの貧困地区で暮らす人々が車椅子を購入することは本当に大変です。彼は幼い頃からずっと自分の力で行きたい所に行くことを夢見ていました。ご家族も行政にお願いしてはいましたが、そのような状況の人たちは数えきれないほどおり、チャンスが巡ってくるのは本当に奇跡的なことです。

今回、皆さんおかげで一人の少年の願いが叶いました。心からお礼申し上げます。

しかし、現地のスラムではコロナ禍においてもマスク一枚に困窮し、被災地では沢山の方が住む家を失い苦しい生活をしております。また、感染拡大防止の観点から行政の支援も遅れがちになり、さらなる過酷な生活を虐げられています。

当会では今後とも「歯ブラシ・タオル・固形石鹸・Tシャツなどの衣類等」の支援活動、募金活動を行っておりますので多くの方にお声をかけていただき、更なる皆さんのご協力を賜りますようお願いいたします。